

# 源氏物語千年紀

日本セルネット 加藤 順子

1008 年（寛弘 5 年）11 月 1 日、敦成親王の五十日の祝いの際、紫式部は藤原公任から「あなかしこ。このわたりに、わかむらさきやさぶらふ」と尋ねられ「源氏ににるべき人も見えたまはぬに、かの上はまいていかでものしたまはむと、聞きみたり」と紫式部日記に記しました。

この時からちょうど千年にあたる 2008 年を千年紀とし、源氏物語の舞台である京都・宇治・大津ではたくさんのイベントが催されています。その中心となっているミュージアムを紹介します。



## <源氏物語>

11 世紀初頭の平安時代半ば、紫式部により書かれた作品で、今日では世界的な古典作品として、英仏独、他 20ヶ国以上の外国語に翻訳されて愛読されています。

「源氏物語」は女性によって初めて書かれた作品で、光源氏という主人公の人生を長編物語として描いてあります。物語は全部で 54 帖あり、光源氏が栄華の座につくまでとその晩年、その子薫の半生の三部構成からなっています。



## 京都文化博物館

京都の歴史と文化が模型や映像を使ってわかりやすく展示してあります。旧日本銀行支店の建物であり明治を代表する洋風建築として国の重要文化財に指定されています。

2008 年度はこの博物館が開館 20 周年になるのにあわせて、「特別展：源氏物語千年紀展（恋、千年の時空をこえて）」が開催されています。

源氏物語の世界（登場人物や名場面）が優れた美術作品（国宝・重要文化財・重要美術品約 40 点を含む総数約 170 点）により紹介されており、源氏物語の背景となった平安時代の文化や、源氏物語をめぐって現代まで積み重ねられてきた様々な営みが展覧されています。現在の源氏物語千年紀展は 6 月 8 日までですが、今年の間を通して「源氏物語」がテーマとなっています。

### 【これからの展示】

6/17～7/27 源氏香の世界展

8/1～9/21 永楽即全「源氏物語と五十四帖」と十七代永楽善五郎

9/26～10/24 雅の継承—源氏物語絵巻に挑む

11/1～12/21 源氏物語千年紀「匠の美と技」展



## 宇治市源氏物語ミュージアム

宇治十帖の舞台となった宇治市にある、源氏物語をテーマにした博物館です。

光源氏が都で華やかに活躍した世界を中心にした春の部屋、その息子の薫と孫の匂宮がくりひろげる宇治十帖をイメージした秋の部屋があります。

【お薦め】映像展示室では宇治十帖の「浮舟」の物語を上映しています。人形師のホリ・ヒロシさん作の人形が表現する源氏物語でうっとりするほどの妖艶さに、ひきこまれていきます。近寄り難かった古典文学が一気に身近に感じられ、他の場面も知りたくなります。

その他、源氏物語に関する書物がコミックまでそろっている図書室や喫茶室、ミュージアムショップもあります。

【案内】2008 年はこれからも源氏物語に関する企画が続々と展開されていきます。

★ゆかりの地 14ヶ所のスタンプラリーがついた源氏物語千年紀記念特別観光パスポートがあります。

★源氏物語ミュージアム、石山寺、滋賀県立近代美術館とを結ぶルートバスが運行中です。



皆さんの郷土を紹介して下さい。

郷土にまつわる歴史・風俗・見どころ…何でも結構です。

写真は 1～2 点にして下さい。

デジタルカメラの画素数は 200 万程度に調整して下さい。投稿をお待ちしています。

## 石山寺

紫式部はここで湖面に映る名月を見ながら物語の構想を練ったといわれています。現在「源氏夢回廊」が開かれています。

